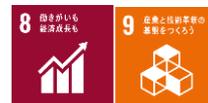


株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀未来ファンド2号」第19号案件への投資について ～iPS細胞を使った再生医療製品の開発を行う「iHeart Japan株式会社」へ投資～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、第19号投資案件として、「iHeart Japan株式会社」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、34社となりました。

「iHeart Japan株式会社」は、iPS細胞を使った再生医療製品の開発を行う京都大学発のベンチャー企業です。同社が開発を進める心筋シートは、心臓の細胞を回復させ心機能の改善に繋げることから心臓移植に代わる新たな治療法として期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等への投資を行い、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	iHeart Japan株式会社
代表者	代表取締役 角田 健治
所在地	京都市左京区吉田下阿達町46 京都大学医薬系総合研究棟
設立	2013年4月
事業内容	iPS細胞を使った再生医療製品の開発 等

2. 投資額

49,992,000円

3. 投資について

本件投資により、「iHeart Japan株式会社」は、iPS細胞を使った再生医療製品の開発を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員（G P）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（L P）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

